

**特集** 1 まちを彩る 緑の仲間たち  
2 大地震 もしけがをしたら

「広報よこほま港北区版」が  
スマホやタブレット端末で読みやすくなりました



マチイロ



マイ広報紙

**網島市民の森愛護会**  
**まちなかのオアシスを守る**

「市民の森」は、土地所有者の皆さんの協力の下、市が遊歩道や広場をつくり、憩いの場として市民に開放している森です。

網島市民の森は、まちなかで広さ6.1ヘクタールのまとまった緑が保全された市民の森です。近隣に住む愛護会の皆さんが、日頃から小まめに森の手入れをしています。森の中は空気も気持ち良いので、家族連れや年配の人が散策に訪れる、まちなかのオアシスとして親しまれています。



野草を調べて活動の成果を確認

森は雨水をため、豊かな地下水を育みます。森を守ることが、この活動に関わる私たちの活力にもなっています。



網島市民の森愛護会の皆さん

網島市民の森 所在地  
網島台 (東急東横線網島駅から徒歩10分)



は事業費の一部に横浜みどり税を活用している事業です。4ページでも紹介しています。

みどりアップ計画26-30

検索

**地域緑のまちづくり 錦が丘地区**  
**桜並木のある風景を未来に**

「地域緑のまちづくり」は、地域の皆さんが主体となり、地域にふさわしい緑を創出する計画を作り、市と協働で緑化を進めるものです。

菊名駅に近接する錦が丘地区では、緑を「まちの財産」と位置付け、「緑でつながるコミュニティ」を目指して、桜並木や民有地の垣根などの緑を充実させる活動をしています。住民の皆さんと市が協働し、新たに68本の桜と紅葉、9本のアジサイを植えました。



歴史ある桜と若い桜が並ぶ街路樹

桜並木の中には、道路上に互い違いに植えられたものもあります。このような道路では、車が蛇行しながらゆっくりと通るため、歩行者は安全に通行できます。その他にも、地域を涼しく快適にするなど、桜並木は大切な役割を担っています。



錦が丘地区の皆さん

まちを愛する気持ちを原動力に活動を進めています。緑が豊かなことを気に入った人が新たに住むことによって、まちの活性化にもつながっています。

大倉山つつみ通り地区でも、昨年から「地域緑のまちづくり」が始まっています

**まちを彩る 緑の仲間たち**

まちなかや公園の緑をつくり、育てている皆さんを紹介します。

●問合せ 環境創造局みどりアップ推進課(横浜みどりアップ計画) ☎671-2712 fax 224-6627  
港北土木事務所(公園愛護会) ☎531-7361 fax 531-9699

**公園愛護会**  
**気持ちよく使える、きれいな公園づくり**

公園愛護会は、身近な公園の清掃や利用マナーの啓発などを行う、地域の皆さんによるボランティア団体です。区内では165団体が活動しています。

愛護会の活動を通して、花や木の知識が深まったり、地域で友人ができたりと、良いことがたくさんあります。花壇作りなどの体験もできます。気軽に参加してみてください。



太尾南公園愛護会の皆さん



港北土木事務所キャラクター どぼっこ

公園をきれいに保つためには、地域の皆さんの積極的な協力が必要です

**公園愛護のつどい**



昨年の様子

愛護会の活動に参加したことのない人も、気軽に来場してください。先着250人に球根を差し上げます。

**日時** 9月28日(木) 13時30分～15時30分  
**会場** 港北公会堂

(東急東横線大倉山駅から徒歩7分)

当日直接会場へ

**内容** 講演「あなたの知らないカラスの生態」  
公園愛護会の活動事例紹介 など



師岡町梅の丘公園のたねダンゴ

**たねダンゴを作ろう**

たねダンゴとは、土ダンゴの中に肥料を混ぜ、花の種を付ける簡単な種まき方法です。1か所から数株の芽が出るので、花束のように花が咲きます。

- 1 「けと土」と「赤玉土」を3対1の比率で混ぜ、水などで粘土細工ができるくらいの硬さまでこね、野球ボールほどの大きさに丸める。
- 2 丸めた生地を、キンカンほどの大きさに取り分け、中心に肥料(粒状のケイ酸塩白土と緩効性肥料)をひとつまみ入れ、ダンゴ状にする。
- 3 ダンゴの表面(上と下)に種を付け、丸め直して種を埋め込み、表面に粉末状のケイ酸塩白土をまぶす。
- 4 ダンゴを軽くつぶし、植え付ける土の中にダンゴの頭まで入れ、頭の上に薄く土をかぶせる。(30～40センチメートル間隔で植える)

